

KTK いたづみ福祉会を 守る会だより

2019. 冬 NO.56



☆児童デイサービス☆
「創作」
落ち葉を使って
木をつくろう♪



新年のご挨拶

輝かしい新年を迎え、皆様誠におめでとうございます。本年も皆様方にとって良い一年でありますように。

昨年は、いたづみ福祉会が30周年を迎えられ、9月1日には記念式典が盛大に開催されました。このように大きな節目を迎え、さらに地域障がい者のために、また社会福祉のために、同じ地域福祉に関わるもの同士、これからも手を携え頑張っていきたいと思います。

今、政府は「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現を提案していますが、この考えは、当事者の意見をまったく無視した地域づくりの提案であ

南山城村社会福祉協議会
会長 安場 昭和

り、医療、介護、福祉について、財政支出をどう抑えるかが中心であり、「助け合い」・「共生」と言いながら、障害者総合支援法を介護保険制度に吸収することを目指しているのではないかと懸念されます。

こんな中で、いたづみ福祉会が更に一致団結し、障がい者が地域で安心して暮らし続けられる体制の拡充をこれまで以上に強化されることを望みます。

最後になりましたが、皆さん方のご健康と、ご幸福を心からご祈念申し上げます。

いづみの職員ってどんな人？

職員にきいてみよう！！ 😊

今回はいづみ福祉会で働く職員さんがどんな思いで働いているのか…、どんなきっかけで就職したのか…などをインタビュー方式で聞き取りをしてみました。(大久保)



【名前】 睨 職員

2018年入職

【所属】

ワーキングセンター

いづみ福祉会に入ったきっかけは？

小学校時代にワーキングセンターに草木染め体験に来たのがきっかけです。ご利用者から仕事のよさを生き生きと話していただきました。また、玉ねぎのとても良い香りがしたのを今でも覚えています。ハンディキャップがある人、ない人に限らず、ご利用者も職員とも関係性を深めて、自分も生き生きと働きたいと思い、いづみ福祉会に入りました。

仕事をしていて楽しいことは？

ご利用者は日々作業を懸命に取り組んでおられ、その人にあった作業提供やいづみでの過ごし方を私たち支援職員はご本人と寄り添いながら可能性をどこまでも広げていけるんだと、いつもわくわくしながら業務に取り組んでいることです。ご利用者のために試行錯誤を繰り返して、関わり続けることで意思表示が明確に分かり、喜んでもらえる瞬間がたまらなく楽しいです！！

これからどんな職員になりたいか？

ご利用者に対する思いを大切に持ち続けて、障害の特性を研修や会議で学び、上司の方や後輩とのチームの連携をとっていきたいです。また、ご利用者について、もっと知り作業でのやりがいや達成感を支援で届けられるような職員になりたいです。「あなたは前向きな姿勢と笑顔がいいよね」と上司からいただいた言葉を忘れず、これからもいづみ福祉会で歩み続けていきます！！

いづみ福祉会に入ったきっかけは？

いづみ福祉会の経営理念である「生きることのすばらしさ、生きぬくことの大切さ」の後半部分に魅かれました。「生きぬく」ということは、生きていく上で何かしら困難なことがあることを表していると思いました。これは、障害のあるなしに関係なく、誰にでも当てはまることだと思います。ご利用者だけではなく職員のことも含まれている経営理念を見て働きたいと思いました。

異動で得たことやものは？

児童デイサービス、ワーキングセンター、ワーキングサポートちくたくと異動してきました。同じ福祉の中でもご利用者の対象範囲が広いことを実感しました。子どもから大人までの人生に関わり、その中で「遊ぶこと」「働くこと」が、それぞれの人生において重要な意味を持つことを少しずつ感じています。



【名前】 服部 職員

2015年入職

【所属】

ワーキングサポート
ちくたく

仕事を続けていく、モチベーションとは？

支援を行う中で、自身のことも振り返ることができるのがモチベーションになっています。「仕事への集中力が続かない」ことを悩んでいるご利用者がいれば、自分は仕事に集中できているか、集中できるのであれば何故集中できるのか、できないのであればどのようにすれば集中できるのかなど、ご利用者を通して自身のことも振り返ることができます。



【名前】中村 職員
2017年入職
【所属】
児童デイサービス

福祉を目指すきっかけは？

高校時代のボランティア活動がきっかけです。大学ではボランティア活動から離れていましたが、障がいのある方と関わる中で感じた楽しさや嬉しさがずっと私の中にありました。大学卒業後に就いた販売の仕事を通して「もっと人と関わった仕事がしたい！」と思い、福祉職を目指しました。

仕事をしていて楽しいことは？

子どもたちがにこにこ顔で学校での話や好きなものの話をしてくれている姿を見ていると、一人ひとりと向き合えるこの仕事の楽しさを感じます。今は児童デイサービスに勤務しているので、子どもたちと同じ目線に立って遊んでいるときもとても楽しいです！

異動をして感じたことは？

ワーキングセンターと児童デイサービスでは異なる部分がたくさんあるので、最初は戸惑うことも多かったです。異動をして不安もありましたが、ワーキングセンターで学び感じたことを、新しい経験を通して自分に返していきながら、毎日学びがある環境を楽しんでいます。

どんな職員になりたいか？

笑顔を絶やさず、ご利用者の気持ちに寄り添える職員になりたいです。いろいろな話ができ、ご利用者にとって安心できる職員でありたいと思っています。

福祉を目指すきっかけは？

幼稚園教諭時代、担任を持ったクラスの中に広汎性発達障害のお子様がおられました。十分な関わりができない日々で、『療育』を深く学びたいと思ったことがきっかけになりました。



【名前】塚本 副主任
2012年入職
【所属】
ワーキングセンター
いづみ

いづみ福祉会に入ったきっかけは？

結婚をして、木津に引っ越しが決まり、これまでの保育、療育の経験が生かせる職場を探していたところ、児童デイサービスの求人を見つけました。面談の時、「子供を産んでも働き続ける職場です」と言ってもらえたことが大きかったです。

いづみでの働きやすさはどうですか？

(産休制度やそのほか…)

当時、ワーキングセンターの正規職員で産休育休を取得し、復職された例がなかったので、不安は大きかったです。ただ、当時の土井施設長、荒川副施設長が細やかに話しを聞いて下さったり、他の職員さんが温かい目で応援してくれていることが何よりの「働きやすさ」に繋がりました。

仕事量に目が回ることはありますが、制度は一般企業と変わらず、きちんと定められているので安心です。

仕事と家庭の両立の秘訣は？

うんー・・・気合！ですかね。仕事が思っていたようにできなく、モヤモヤしながら子供を迎えに行く日も多いですが、家に帰ると休む間もなく次々と色々なことに追われているので、気合なしでは進みません。

将来の夢は？

正直一番に思い浮かんだのは、一人でぼーっとしたり、美味しいものを味わう時間が持てたら・・・。ただ、じっくり考えてみると、息子たちが元気におじさんまで成長し、孫も一緒に旅行に行けたら、最高です！！

いづみ福祉会は、きょうと福祉人材育成認証制度の

認証を受けています！

きょうと福祉人材育成認証制度とは？



きょうと福祉人材育成認証制度とは、京都府が福祉業界の人材確保を重点課題と捉えて取り組んでいる制度です。「給与や定着率が悪い」、「キャリアパスが見えない」などといった福祉職場のマイナスイメージを払拭し、学生をはじめとした若者がなかなか福祉の業界を選ばない現状を改善するための制度です。分かりやすく言うと、京都府が「この認証を受けている事業所は安心できる職場ですよ！」というお墨付きをしてくれるということです。…いづみは平成27年10月に認証を受けました！（土井）

認証のチェックポイントは4分野17項目です。

新人教育は充実しているか <ul style="list-style-type: none">新規採用者育成計画の策定新規採用者研修の実施OJT指導者に対する研修の実施 	未来を描ける職場か <ul style="list-style-type: none">キャリアパス制度の導入人材育成を目的とした面談の実施人材育成計画の策定人材育成を目的とした評価の実施資質向上研修の実施給与体系または給与表の導入資格取得に対する支援 
社員を大切にしているか <ul style="list-style-type: none">休暇制度、労働時間縮減のための取組の実施出産後復帰に関する取組の実施育児、介護を両立できる取組の実施健康管理に関する取組の実施 	外部との交流には積極的か <ul style="list-style-type: none">京都介護・福祉サービス第三者評価の受診地域や学校との交流関係法令の遵守 

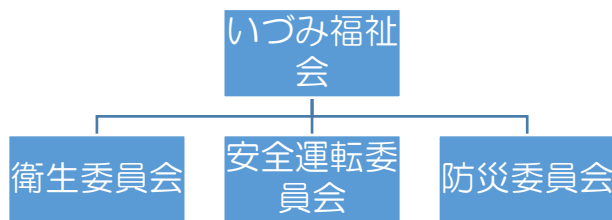
職員の採用について・・・

いづみ福祉会では、福祉認証制度の取得だけでなく、職員の採用に向けて様々な取り組みを行っています。以下に、少しご紹介します！

「就職フェア」への出展 <p>福祉事業所の合同説明会にブースを出し、求職者の方にいづみ福祉会の説明などを行い、実際に見学に来ていただく案内などを行っています。</p>	就職サイト「マイナビ」 <p>大学を卒業される方が就職を探される就職サイトにも登録をし、いづみの情報を発信しています！</p>
--	--

その他・・・
ハローワークの求人や福祉人材センターへの求人登録、インターンシップの受入なども行っています。

現在、いづみ福祉会では、法人全体にかかわる問題について、事業所を超えて協議し、よりよく改善していくことを目指し、3つの委員会を立ち上げています。今回より、委員会を順にご紹介していきます。…



いづみ福祉会では、平成28年度に衛生委員会を立ち上げました。職員の健康保持増進や、快適な職場環境の形成や事業所の衛生に関わる問題の改善のための活動を目的としています。メンバーは、各事業所群から1名参加するというようになっており、

- 観音寺（ワーキングセンター、総務）
- 里（グループホーム、サービスセンター）
- 加茂支所（地活、ちくたく、児童）
- 木津（児童、相談）

・・・の事業所群から選出されたメンバー4名で活動しています。第一種衛生管理者免許所持者もメンバーに入っています。

毎月1回は、委員会を開催することになっており、各月の議題として衛生に関することや職員の健康について話し合います。内容については、年4回発行している衛生委員会だよりで職員の皆さんにお知らせすることになっています。

今、衛生委員会で力をいれているのが、ストレスチェックの実施です。法律で50人以上の事業場で義務付けられているもので、いづみでも過去2回厚生労働省推奨のストレスチェックを実施しました。しかし個人に結果は返るものの、福祉会として職場環境改善に向けてどう活用していいのかわかりにくいものであったため、衛生委員会では別のツールを使用して現状を把握し、何をどう改善していけばよいかを考

えていくことにしています。人と関わることが中心の職場ですので、精神的にしんどくなることも多いと思います。また、身体介護の多い職場では腰痛などに悩まされている方も多いでしょう。そんな時によりよいセルフマネジメントができるように、また、周囲からお互いに支え合いができるようにと…今後も改善を続けていきたいと思っています。

次に取り組んで行く予定にしているものは、施設巡回です。衛生管理者の業務として位置づけられているものです。いづみには多くの事業所があり、施設長は週1回会議を持ち情報共有を行なっています。しかし、職場環境改善などの細かなテーマについては、話し合う機会も少ないのが現状です。衛生委員会の視点で各事業所をまわり、各施設のよいところを、他の施設も共有できるように、衛生委員会が橋渡しとなれるようにすすめていきたいと思っています。

職場の環境改善は、衛生委員だけがするものではありません。現場で働く職員の皆さんの声を聞くことができるように、各事業所群にご意見ポストの設置も行なっています。いづみ福祉会の風通しのよい職場づくりのために、衛生委員会の活動をますます深めていきたいと思っています。

（委員長 三船 美香）



ワーキングセンター



～草木染めクラフト販売～

日時：2019年3/5(火)～3/14(木)

時間：10:00～17:00

場所：奈良町物語館

一言：新商品も揃っています!!!

～プチ作品展&販売会～

日時：2019年2月4日(月)～8日(金)

2月12日(火)～15日(金)

時間：11:30～16:00

場所：いづみ福祉会 喫茶フルーヴ

その他：B品アウトレット市も同時開催します!!

一言：ぜひ、お越しください!!!

～パン班インフォメーション～

●11月23日(金・祝)に「ベーカリーあすのKYOTOカップ」に出場!!残念ながら、グランプリは獲得できませんでしたが、たくさんのお客さんから美味しい!!の言葉をかけていただきました。来年はグランプリを奪還するぞ!!!

●茶処ラスクの販売場所のお知らせ

・喫茶フルーヴ(いづみ福祉会 本館)

・小間安老舗 ・SHOP 木の津

・笠置いこいの館 ・和東茶カフェ

・道の駅 お茶の京都みなみやましろ村

・クローバー牧場 ・加茂カントリークラブ

お近くに寄られた際はぜひご利用下さい!



相談支援センター



◎介護福祉サービスと障害福祉サービスを併用されるご利用者もおられることから、12月12日に、木津川市のケアマネージャー会の方々と、介護福祉と障害福祉の連携についての講演と意見交換会を開催しました。

◎山城南圏域自立支援協議会で医療的ケア部会が立ち上がり、今年度は3回の研修を行います。

◎山城南圏域自立支援協議会主催で11月28日に、ご家族向けに“親亡き後の自立について”をテーマに、ご利用者ご本人から1人暮らしの具体的な様子を聞く、勉強会を行いました。

◎今年も9月から、相談支援センター主催でペアレントトレーニング(全8回)を開催しています。

来年1月からは、東部(笠置町・和東町・南山城村)から委託を受けて、三町村合同でペアレントトレーニング(全5回)を開催します。*過去の様子は、

<http://www.idumi-fukushikai.or.jp/untitled25.html> をご覧ください。

日帰り旅行～映画村～

今年度の日帰り旅行は京都太秦映画村に行ってきました！秋晴れの本当にいいお天気。映画村に到着すると、まるでタイムスリップしたような雰囲気の中、みんなで恒例の記念撮影をしました。上を忍者のからくりが通っていて、興奮しながら撮影をしました。

お昼ご飯は豪華なお弁当を食べ、江戸時代の風景を楽しみながら散策したり、侍のショーを見たり、思い思いの時間をゆっくり過ごしました。お土産も楽しみながら選ぶことができました。来年も楽しみだね♪と早くも話していました。



みんなでハイポーズ！！

一泊旅行～三重・パルケエスパーニャ～



ハロウィンの前で
ピース！！

一泊旅行は三重県に行きました！1日目は鳥羽シーサイドホテルに宿泊し、2日目に志摩スペイン村の遊園地パルケエスパーニャで楽しみました。ホテルでは、温泉で疲れを癒した後、お楽しみの大宴会。カラオケ大会で自慢の歌声を披露し、ご利用者も職員も仮装しておおいに盛り上がりました。楽しい雰囲気の中、仲居さんも拍手喝采されていました。パルケエスパーニャでは、さまざまなアトラクションを楽しんだり、スペイン料理レストランなどでの昼食、パレードで踊ったりと盛りだくさんの1日でした。

帰りのバスでは、2日間思いっきり楽しんだ疲れでウトウトされる利用者さんも。寝顔も楽しそうな思い出いっぱいの旅行となりました。



「誰もが」安心して暮らしていくために～学習会の開催～



いづみ家族会 津村 美紀

11月30日（水）加茂文化センターにていづみ福祉会、相楽郡東部ふれあう親の会での学習会を開催しました。「誰もが安心して暮らしていくために」というテーマで、京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」にて、相談支援専門員として活躍されている出口剛史さんにお越しいただき、家族会15名、リトルふれんど1名、放課後等デイ1名、職員2名が参加し、学びました。

はじめに出口さんから事業所の様子を紹介していただき、その後3組のご家族の事例をお話していただきました。個々の生活や性格などは十人十色なので、「こうすればうまくいく」という事がなく、常にそれぞれの事情と環境の変化などを見据えて、考え続けられないといけないというお話でした。その後、昼食にいづみのパンをいただき、3グループに分かれ「福祉制度について」日頃の些細な心配事や気になる話もグループ内でざっくばらんに話すことが出来、さまざまな気づきを持った時間になりました。



会費納入ありがとうございました！！



2018年度の会費納入をお願いします。同封の振込用紙をご利用ください。
 個人会費は一口1,000円、団体（法人）会費は一口3,000円です。
 法人の窓口に持って来ていただくことも大歓迎です。

会費納入をいただいた方々です。（敬称略、順不同）
 （2018年10月11日～12月17日受付分）

石川啓子	吉田純子	中村均	石田晴一	西村正子
川口昌子	杉若良子	濱野里美	小寺栄子	松岡佳代
川西毅	藤村富美子	松田幸雄	大西波久美	柳沼俊一
松本博司	須佐美憲史	新田晴美	南本妙子	川添倫男
玉置修三	地曳高士	巽千鶴代	山本仁	植田和子
近藤祐三	安見和代	白井謙	松田恵美子	大倉博
阪口昌通	伊地知文雄	橋本洋一	林良美	島川商店
阪口賀世	伊地知節子	橋本さち	林和孝	大西燃料店 (株)中岡得輔商店

*郵便局からの情報が届くまでに時間がかかり、この期間にお振込みをいただいたにもかかわらず、お名前を掲載できていない方がおられる可能性があります。ご迷惑をおかけし、申し訳ありません。



いづみ福祉会および守る会に多くの方々からご寄付をいただきました。ありがとうございます。

（2018年10月09日～12月17日受付分）お名前をご紹介します、お礼に代えさせていただきます。（順不

- 本素子様 ●山口泰司様 ●濱茂様 ●林良美様 ●石崎敬子様 ●村上智乃様
- 山口伸一郎様 ●澤吉祐美子様 ●谷川譲児様 ●来住弘之様 ●山田多賀子様 ●小寺栄子様
- 上野元美様 ●廣尾操様 ●天野純子様 ●大森貢様 ●松田恵美子様 ●吉本恵様
- 馬場久代様 ●河原宗弘様 ●土井信子様 ●大槻伸様 ●小出耕資様 ●大倉博様
- アトリエ萬太郎様 ●クローバー牧場様 ●笠置町社会福祉協議会様
- 木津川市更生保護女性会様 ●相楽清掃様 ●木津川市社会福祉協議会加茂支所ふれあいのつどい様

現金、ギフト券、牛乳パック、ティッシュ、衛生用品、洗剤、食器（湯のみ、コップ、茶碗）、ホットプレート、布団乾燥機、掃除機、机、PCテーブル、レンジ、タオル、ハンカチ、タオル、シャープペンシル、お菓子、服、エプロン、コーヒー、ぬいぐるみ、ヘッドホン、シート、カレンダー、クリスマスツリー、車椅子、コーヒー、もち米、みかん、かき、りんご、玉子、すだち、ゆず、コーヒー、野菜（大根、白菜、キャベツ、ジャガイモ、玉ネギ）

ご寄付いただいたものは、有効に活用させていただいております。厚くお礼申し上げます。
 また、ご家庭に不要なタオル、ご飯茶わん、掃除機、食洗器、洗濯洗剤、マグカップ、お湯呑み、雑巾、ビーズ、長靴（大人用）、家庭用ミシンがありましたら、よろしくお願ひします。

編集 いづみ福祉会を守る会

〒619-1143

連絡先 社会福祉法人 いづみ福祉会 内

京都府木津川市加茂町観音寺石部8番地
 TEL:0774-76-7210 FAX:0774-76-0070
 URL:http://www.idumi-fukushikai.or.jp

≪ 編集委員 ≫

ボランティア団体:西嶋 いづみ家族会:青山
 法人職員:服部、石崎、大久保、丸岡伸、土井

1992年6月5日第三種郵便物認可(毎月1回25日発行)
 2017年11月1日発行 KTK増刊通巻第4652号

発行人 発行所

高谷修 〒602-1814 京都府京都市上京区猪熊通丸太町下ル中ノ町5-19 京都障害者団体定期刊行物協会

075-822-2691

頒価100円

会員の購読料は、会費に含まれています。京都社会福祉会館4階 京都難病連内